

第6回

ビジネスの担い手 卸売業

執筆・講師 粕谷和生



学習のねらい

今回は、「流通」におけるビジネスの担い手である卸売業について学習します。まず、卸売業の主な役割について見てみましょう。次に、卸売業は、その担当する機能によって三つの種類に分けられることを学習します。さらに、卸売業の動向を東京の豊洲市場を舞台に、生鮮水産物がどのように取引されているかを見ていきましょう。そこでは、卸売業の収集機能・仲継機能・分散機能を担う卸売業者の仕事の様子が見られます。

調べておこう・覚えておこう

分散機能／豊洲／卸売業者／問屋

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① 卸売業の役割

流通経路で生産者と小売業者を橋渡しする役割を担うのが卸売業者で、 ① ともよばれます。生産者と小売業者が直接取引をするよりも、

生産者と小売業者の間に ② が入ることで、取引の回数を減らし、流通全体のコストを節約できます。

②は番組出題問題です。

また、卸売業者が商品を一定期間「保管」することで、小売業者の売れ残りのリスクを減らしたり、商品の「輸送」の役割も担っています。

👉 Point ② 卸売業の種類

卸売業者は担当する機能によって、次の三つの種類に分けられます。

一つ目は「収集機能」を担う卸売業者です。農水産品や小規模に生産される工業製品などを買い集め、出荷する卸売業者などがこれに当たります。

二つ目は「^{なかつぎ}仲継機能」を担う卸売業者です。おもに大口の売り手から商品を仕入れて、大口の買い手に販売する卸売業者などがこれに当たります。

三つ目は「分散機能」を担う卸売業者です。収集機能または仲継機能を担う卸売業者から仕入れた商品を、消費地で小売業者などに販売する卸売業者などがこれに当たります。

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

卸売業者は流通経路において「収集機能」「仲継機能」「**③**」といった
三つの機能を担っています。

③は番組出題問題です。

流通経路で卸売業者がこの三つの機能を担うことで、円滑な流通を実現しているのです。

Point ③ 小売業の動向

東京の中央卸売市場として 80 年以上に渡り使用されてきた

築地市場にかわり、2018 年にオープンした **④** 市場は、温度を適切に管理
できるように閉鎖型施設になっています。

④は番組出題問題です。

豊洲市場の巨大な市場の中で取り扱われる魚介類などの生鮮水産物や、野菜・果物・花などの青果物は、年間 35 万トン以上にもなります。今回は生鮮水産物を扱う卸売業者に密着します。

豊洲市場には「収集機能」と「仲継機能」を主に担当する「卸売業者」と、「分散機能」を担当する「^{なかまろし}仲卸業者」がいます。

豊洲市場の卸売業者は、日本全国、さらには世界中からこの豊洲市場に魚を集めてきます。これが「収集機能」です。さらに「仲継機能」も担い、集めた魚を仲卸業者や大口のスーパーなどに販売します。

一方、仲卸業者は、セリや^{あいたい}相対取引で魚を買い付けます。相対取引は、私たちが普段、店で商品を購入する取引と基本的に同じです。仲卸業者は買い付けた魚を、市場内にある仲卸業者の店舗で、町の鮮魚店などの小売業者に販売します。これが「分散機能」です。仲卸業者には小売業者などの買い手のニーズに応じて、その時々で最良の商品を選んで売る“目利き”とよばれるスキルが求められます。

このように、「収集」「仲継」「分散」という機能を担う卸売業者たちのおかげで、私たちの食卓においしい魚が届いているのです。

解答欄

① _____ ② _____

③ _____ ④ _____

※ ① 卸売業 ② 仲卸業者 ③ 分散機能 ④ 築地市場

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。